

何を使う

機器 タブレット

ソフトウェア（アプリ）

ロイロノート・スクール



それをどう使う（それで何が出来る）

- ・児童生徒が協働でプレゼンテーション資料を作ったり、考えたり調べたりしたことを思考ツールを使って整理できる。
- ・児童生徒間、教師と生徒の間でカードをやり取りできる。
- ・児童生徒は制作物を提出し、教師はPDFで保存できる。
- ・PDFなどを資料箱に入れておくことができる。



ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

中学校 各教科等

【 Before 】

- 発表物を模造紙などの紙ベースで作成するため、発表の際は見えにくい。
- 作業できる人が限られ、多くの時間を費やした。



【 After 】 メリット

- グループの発表物を、各個人がタブレットで作成して最後にまとめるので、短時間で制作することができる。
- 写真や音（効果音）、動画を入れるなど、様々な工夫をすることができるので、ICTの活用能力が高まる。
- 相手を意識した発表ができるようになる。
- 保存が簡単で、次年度の生徒の参考になる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他			学習 場面	一 斉	個 別	協 働	
		○						○	○	○	
	1人1台が望ましいが、2人に1台程度でも有効										
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続			○	1人1台端末		△
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等			全教科等			
	○	○	○	○	活用が想定される場面			発表物の作成など			